

【作り方説明書】

タイトワンピースの型紙

■詳細対応サイズ ・58cm ソフビ L,LL (スマド未確認)	■難易度 イージー / 【ノーマル】 / ハード / ハード↑ / エクストラ
■サンプル使用生地 of 厚み 1.28mm	■用意するもの ・ニット等のストレッチ性のある布 ・ニット用の糸 ・ニット用の針
■手縫い可否 OK	■注意事項 布の伸び具合によっては、 着せられない場合があります。 伸びない布を使うと、 どのサイズでも着用不可になりますのでご注意ください。
■布に書き出すパーツリスト ①②袖 2枚→左右反転して2枚 ③後身頃 1枚→そのまま1枚 ④後身頃 1枚→ // ⑤見返し 1枚→ //	
合計：5枚 のパーツで構成	

■必要な布量参考数値

タイトワンピースの型紙

【58cmソフビL,LL】

横90cm, 110cm, 140cm

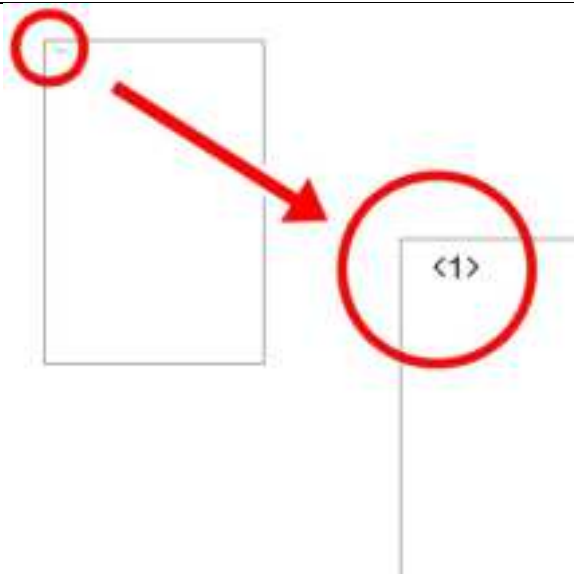
縦28cm



01. 型紙を貼り合わせる

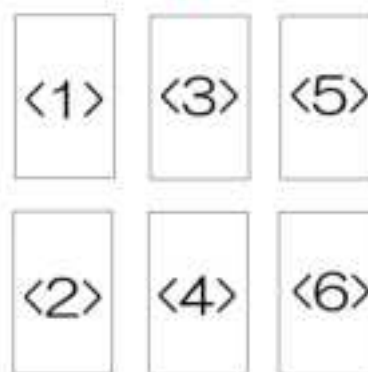
① 型紙に割り振られている番号を確認する。

〔番号は型紙の左上に記載。
 ※①～④の右図は全型紙共通で使用しています。
 型紙の種類によって貼り合わせる枚数、数字は違います。
 枚数、貼り合わせ数字については各型紙をご覧ください。〕

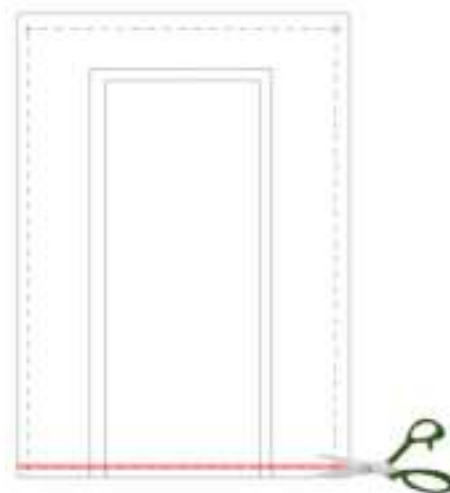


② <1>の型紙に記載されている通りに型紙を並べる。

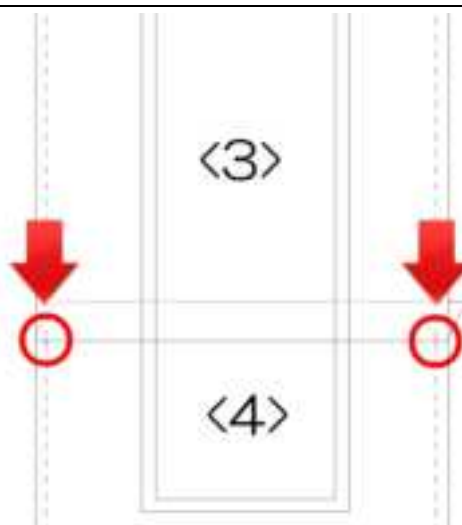
〔「青色の数字の型紙貼り合わせる」という箇所に記載。〕



③ 点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。

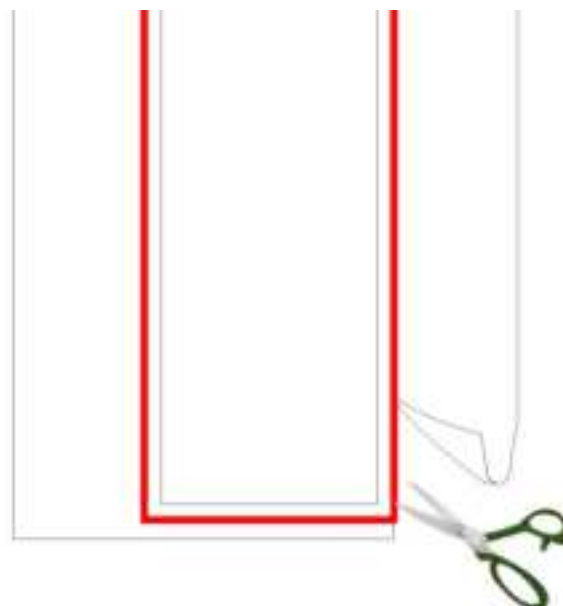


④ <5>の上側のガイドに③の下部を合わせて、表裏両方をテープで留める。



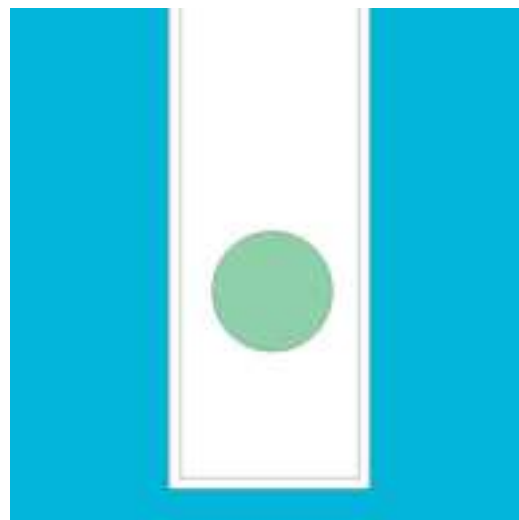
02. 型紙を切り取る。

02～07 の右図は全型紙共通で使用
しています。



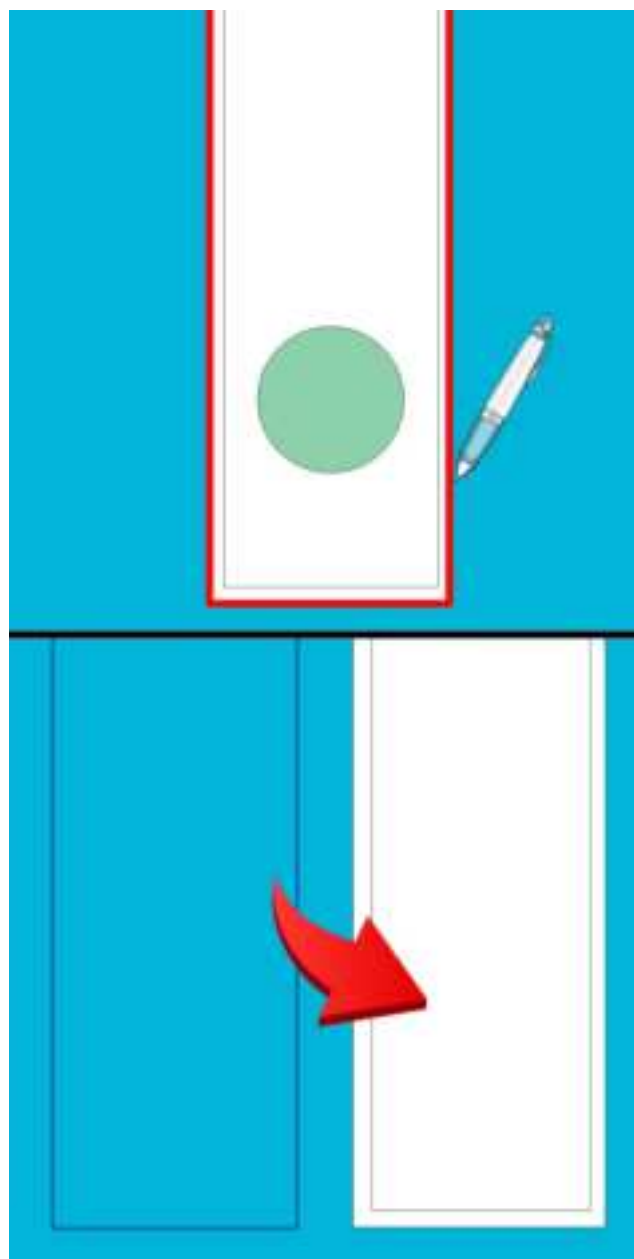
03. 布を裏にして型紙を置く。

〔まち針で留めず、ペーパーウェイト等で型紙が動かない様にする。〕

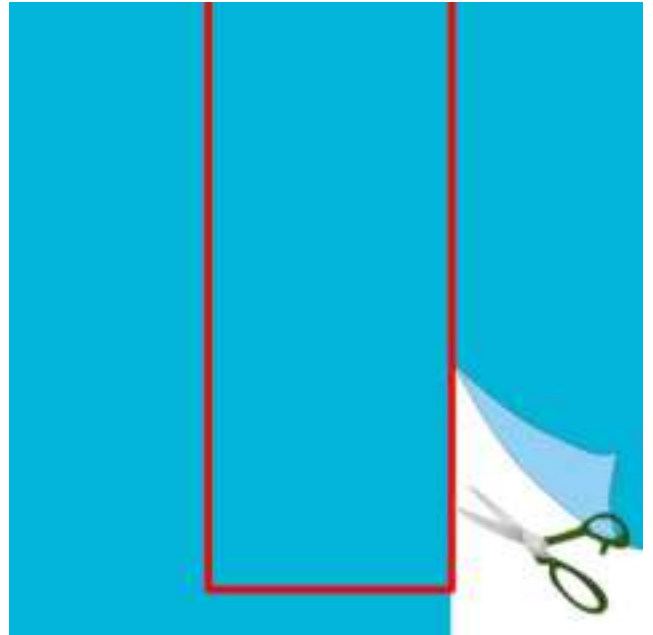


04. 型紙の外側をなぞって布に写す。写したら型紙は一旦避ける。

〔※オススメのチャコペン
・カリスマシャープペンシル(使用中)
・クロバー 水性チャコペン〕

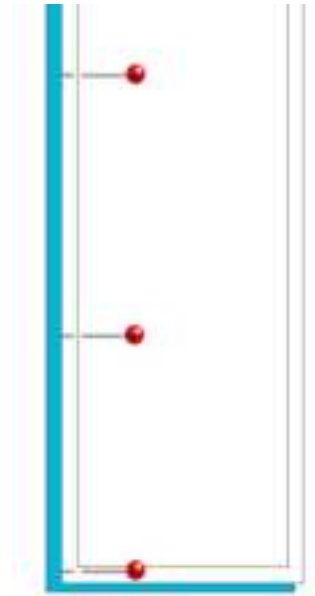


05. 04 で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

〔型紙と布がずれない様にするだけなので、
細かくとめる必要はない。〕



07. “切りじつけ” をする。(①~⑧)

① しつけ糸を針に通し、糸が2本になる様にする。

〔玉止めはしない。〕



② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。

A. 型紙から刺す

B. 布を刺す

C. 0.3cm 程度すくうように縫う

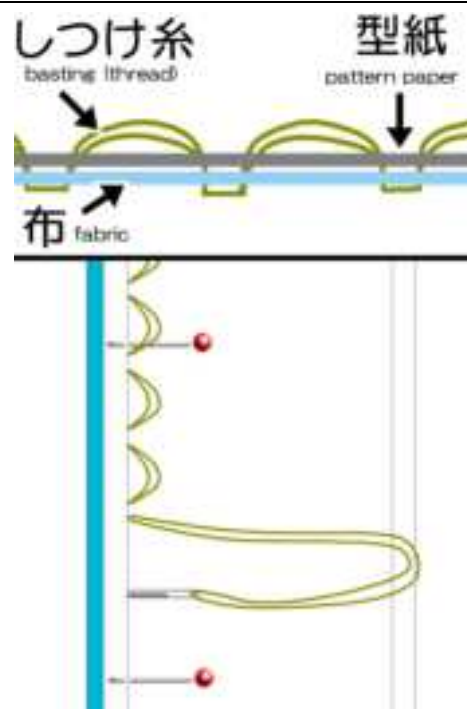
D. 型紙を刺す

E. 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺す

A~E を繰り返す。

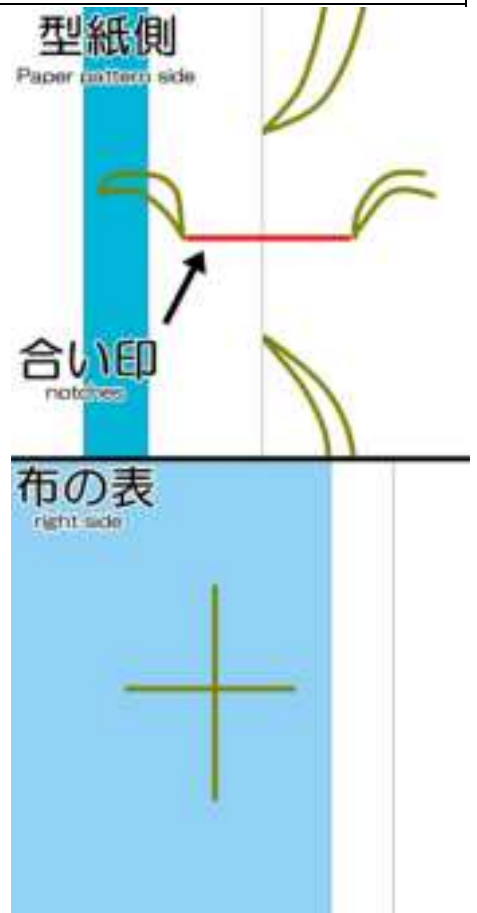
〔上側はたるませて、下側の糸はたるませない。〕

〔全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくても良い。〕





- ③ 角や合い印は下側(布側)から見て
+ に見えるように針を刺す。



④ 上側のたるませた糸を切る。



⑤ まち針を抜く。

⑥ 糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。



⑦ 長い糸は 3mm 程度に切る。

〔糸を抜き取らない様に注意。〕



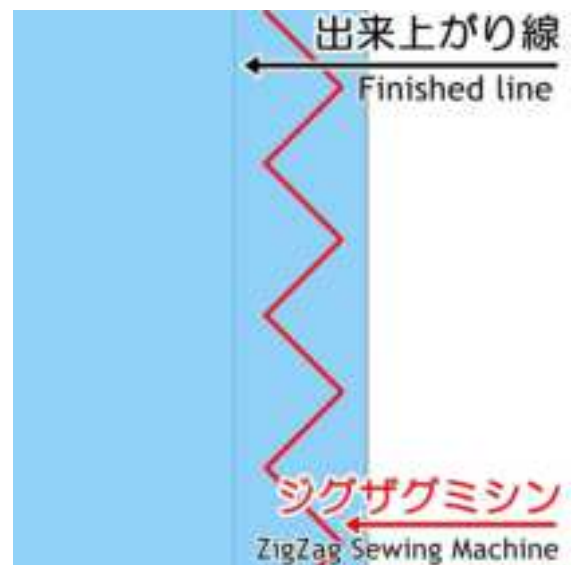
⑧ しつけ糸が抜けやすい様に、アイロンか指で糸を寝かせる。



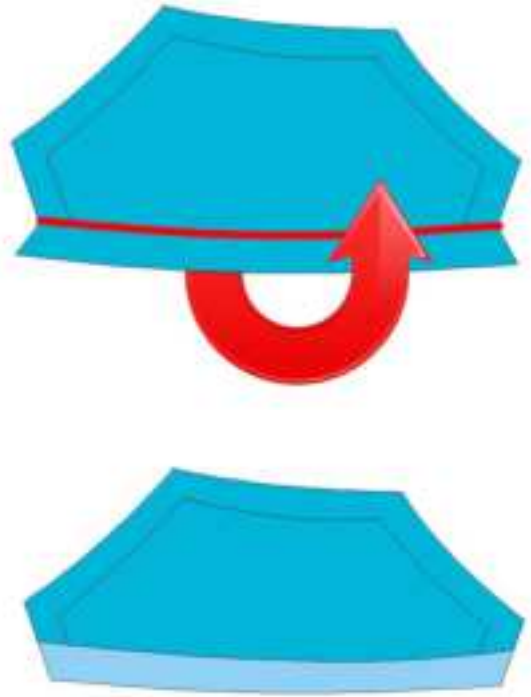
08. ミシンの針と糸をニット用に替える。



09. 袖×2の袖口側にロックミシンか、家庭用ミシンのジグザグで縫う。



10. 袖×2の袖口側を出来上がり線で折る。



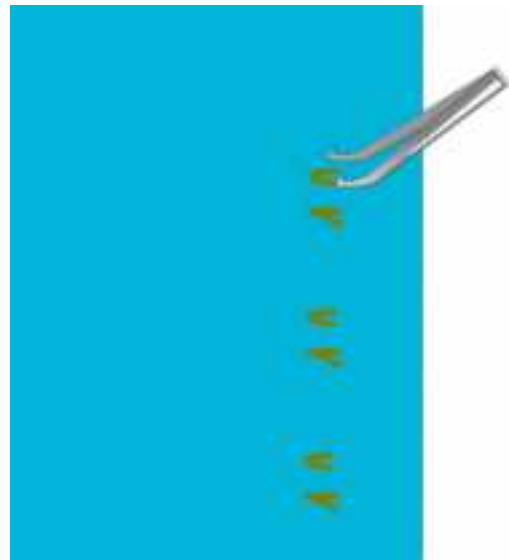
11. 袖×2の袖口を縫う。

〔 家庭用ミシンの縫い目を左図にする。〕



12. 縫ったところのしつけ糸を抜く。

〔 しつけ糸が取り辛い時は、糸抜きや毛抜き等で抜く。
以降、縫ったら余分なしつけ糸はその都度抜いていく。〕

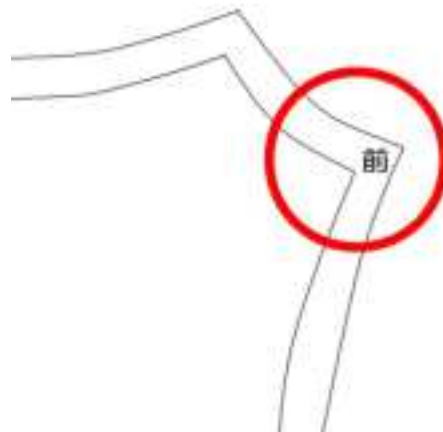


13. 表が内側になる様に、前身頃と袖を合わせて縫う。

〔 左右の袖を間違えない様に注意。〕

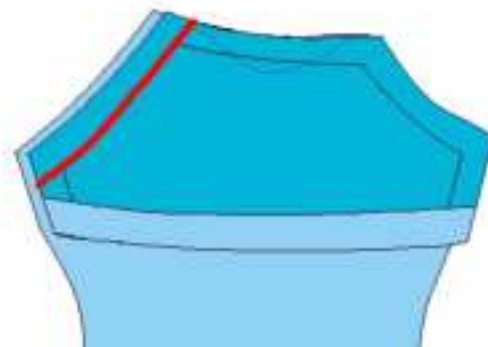
袖の型紙に「前」と書いてある方を前身頃と合わせる。

〔 反対側も同じように縫う。〕



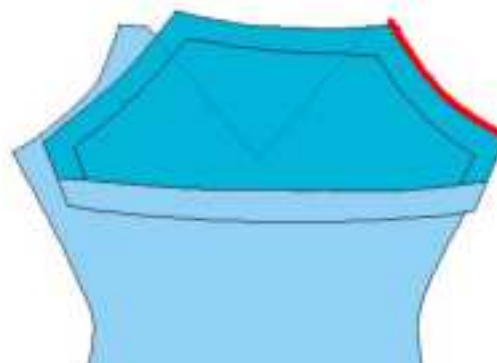
14. 表が内側になる様に、後身頃と袖を合わせて縫う。

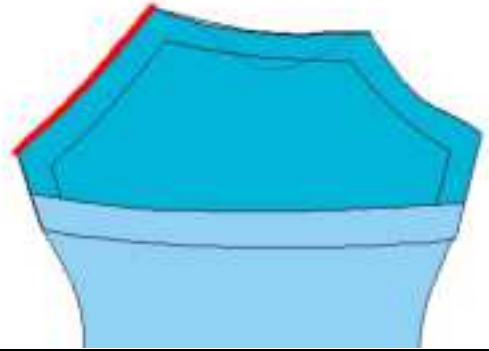
〔 反対側も同じように縫う。〕



15. 身頃と袖の縫い代にロックミシンか、
家庭用ミシンのジグザグで縫う。

〔 反対側も同じように縫う。〕

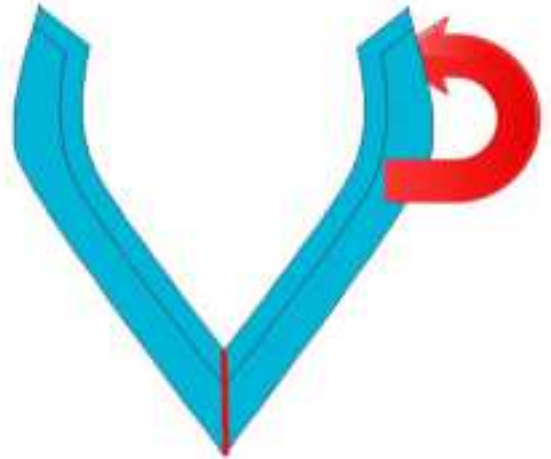




16. 見返しにロックミシンか、
家庭用ミシンのジグザグで縫う。



17. 表が内側になる様に、見返しを折る。

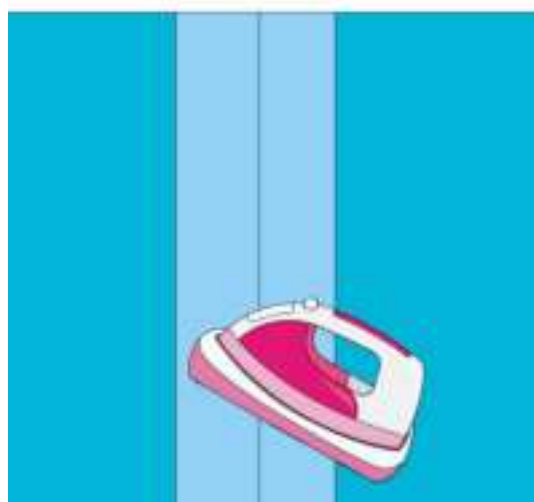




18. 端を縫う。



19. 縫い代を開いてアイロンをかける。

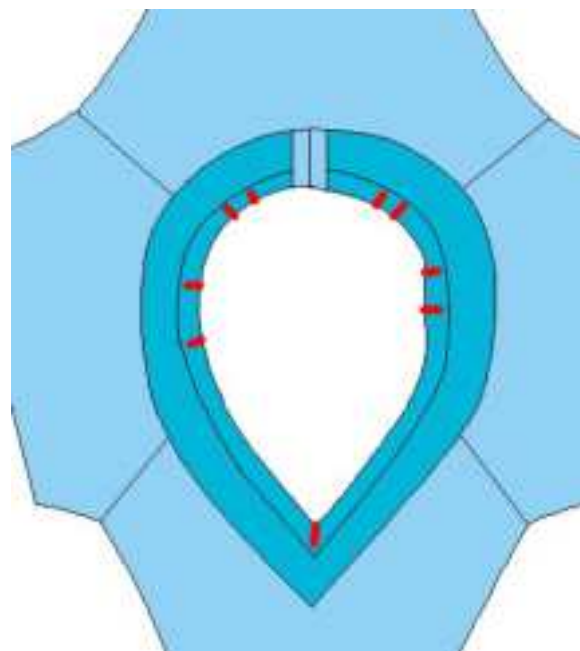


20. 表が内側になる様に、身頃と見返しを合わせて縫う。

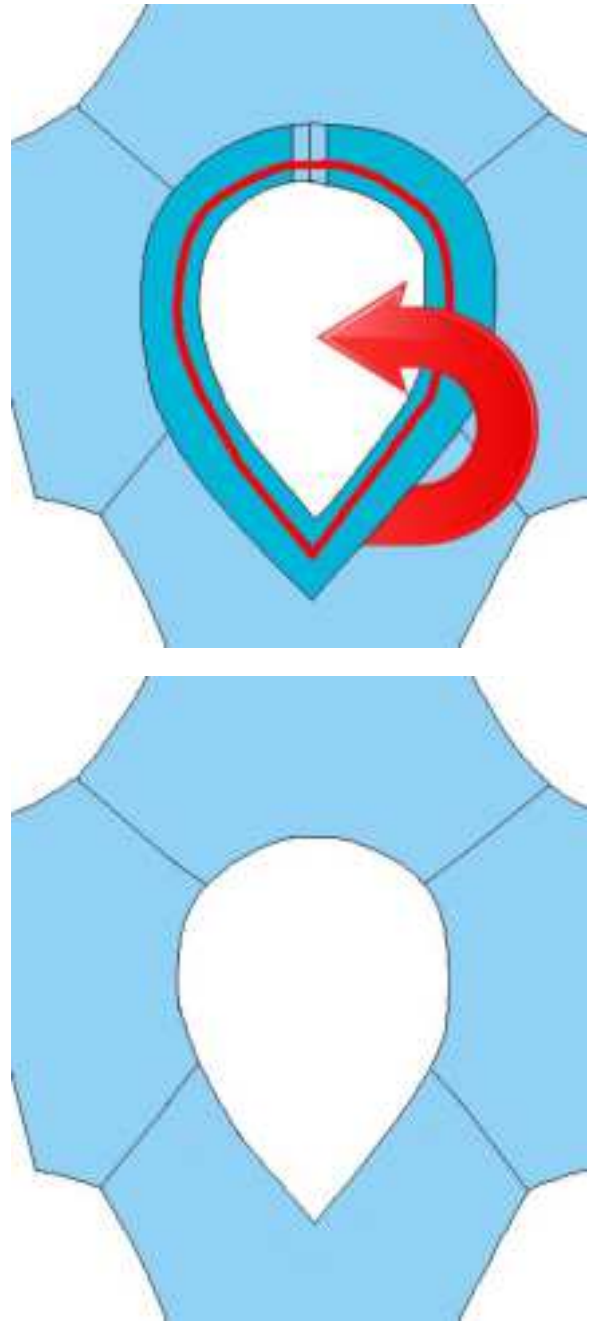
縫い代を身頃側に倒す。
見返しの「前身頃、袖、後身頃」という
ガイドに合わせる。



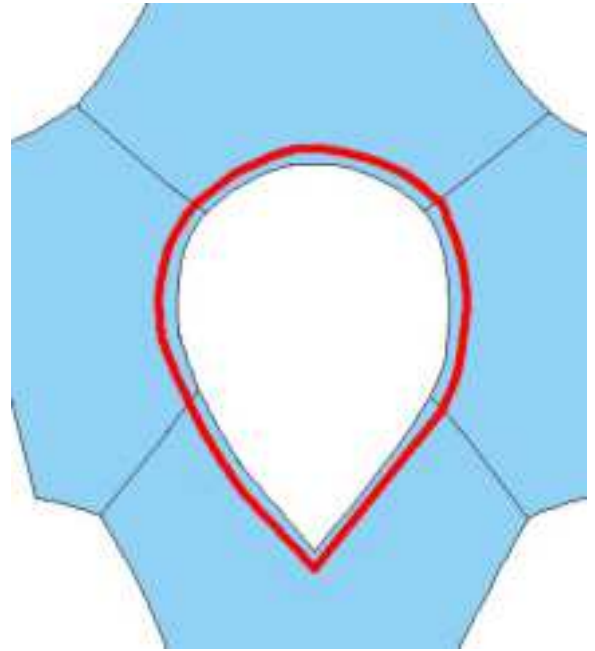
21. カーブと、襟中央に切り込みを入れる。



22. 見返しを折り返す。



23. 縁を縫う。



24. 前身頃と後身頃の裾に
ロックミシンか、家庭用ミシンのジグザグで縫う。



25. 出来上がり線で折る。

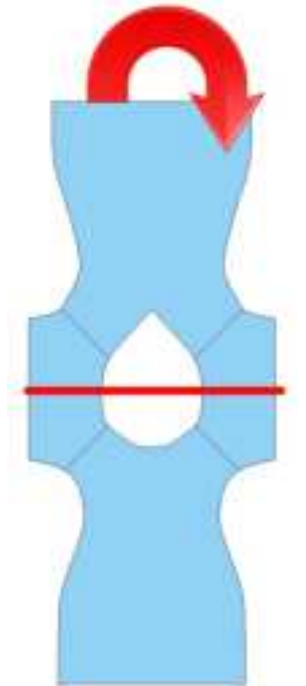




26. 縁を縫う。



27. 表が内側になるように、左右の袖の真ん中で折る。



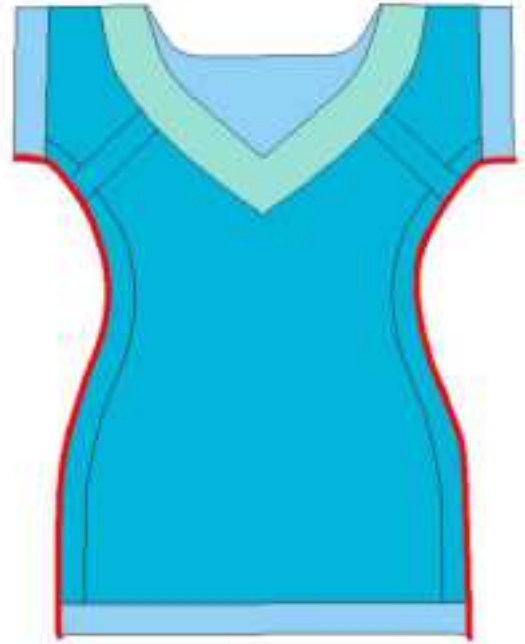


28. 前身頃と後身頃の W を合わせ、袖口から裾までを縫う。

[W:ウエスト。



29. 脇の縫い代をロックミシンか
家庭用ミシンのジグザグで縫う。



30. 表に返す。

お疲れ様でした！